

とちぎ創生15戦略（第2期）の目標値の見直しについて

令和4（2022）年10月28日 総合政策課

1 概要

とちぎ創生15戦略（第2期）の着実な推進を図るため、15の戦略の取組ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、毎年、進捗状況を把握することとしている。

今年度は、とちぎ創生15戦略（第2期）の中間年に当たることから、既に目標値を超過したKPI等について、戦略の更なる高みを目指すため目標値の見直し（上方修正）を行うこととしたい。

2 見直しの考え方

次の2つの要件いずれかに当てはまる指標について、目標値を見直すこととする。

- ① 直近2年間の実績値が目標値を上回るなど、これまでの傾向等から更なる向上が想定されるもの
- ② 根拠となる法令や国の個別施策計画など、設定根拠に変更が生じたもの

<とちぎ未来創造プランの成果指標等の取扱い>

15戦略（第2期）と同様の指標を採用している場合は、併せて見直しを行う。

3 見直しを行う指標（案）

●男性の育児休業取得率（基本目標3 戦略11）

	基準値 H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	目標値 R5 (2023)
目安値		10.0	11.0	12.0	13.0	14.0
見直し後	8.9%				23.0	26.0
実績値		12.8	17.9			

直近2年間の実績値が目安値を上回っており、令和2（2020）年度の実績値が既に目標値を達成している。
※政府目標：R7（2025）までに30%

4 今後のスケジュール

- ・ R5年度 … 見直し後の目標値の適用